

豊前・筑前の国々

I. はじめに

邪馬台国を求めて

II. 文献史料に見える倭の国々

(1) 『漢書』地理志「楽浪海中有倭人，分為百余国」

『後漢書』光武帝紀「東夷倭奴国遣使奉献」

『後漢書』倭伝「国皆称王……倭奴国……倭国極南界……
倭国王帥升等……倭国大乱」

(2) 『魏志』倭人伝「三十国……对馬国……伊都国……邪馬台国」

III. 漢・魏と倭の国

(1) 漢・魏（中国大陸）の郡国制度

(2) 倭（日本列島）の国

IV. 倭の国々 case study

(1) 豊前・「企救」国

西谷正，2012 「「企救」国の想定」『研究紀要』第 26 号，(財)北九州市芸術文化振興
財団埋蔵文化財調査室

(2) 筑前・「胸形」国

西谷正，2013 「「胸形」国の可能性」『研究論集』38，九州歴史資料館

V. おわりに

ポスト倭の国々 国（王）から縣（主）そして郡（司）へ

覇権形成	南と北の異民族の動き
前221 始皇帝が天下を統一、秦帝国の誕生	匈奴は単于のもとに部族連合を形成
	匈奴が侵入する
周王朝の1.5倍に領土を拡大 漢民族の版図確定	秦帝国は長城を修復し匈奴の侵入にぞなえる
前202 漢高祖 漢帝国をひらく 内政重視 消極的外交 地方分権的狀態	匈奴は冒頓単于のもとに諸部族が結集
	漢帝国、匈奴との戦いに破れ和親を結ぶ
前141 武帝即位 國家体制の強化を押し進める	漢帝国の内戦に乘じ匈奴の侵入が続く

武帝の對外政策

前128~
119 匈奴と戦闘

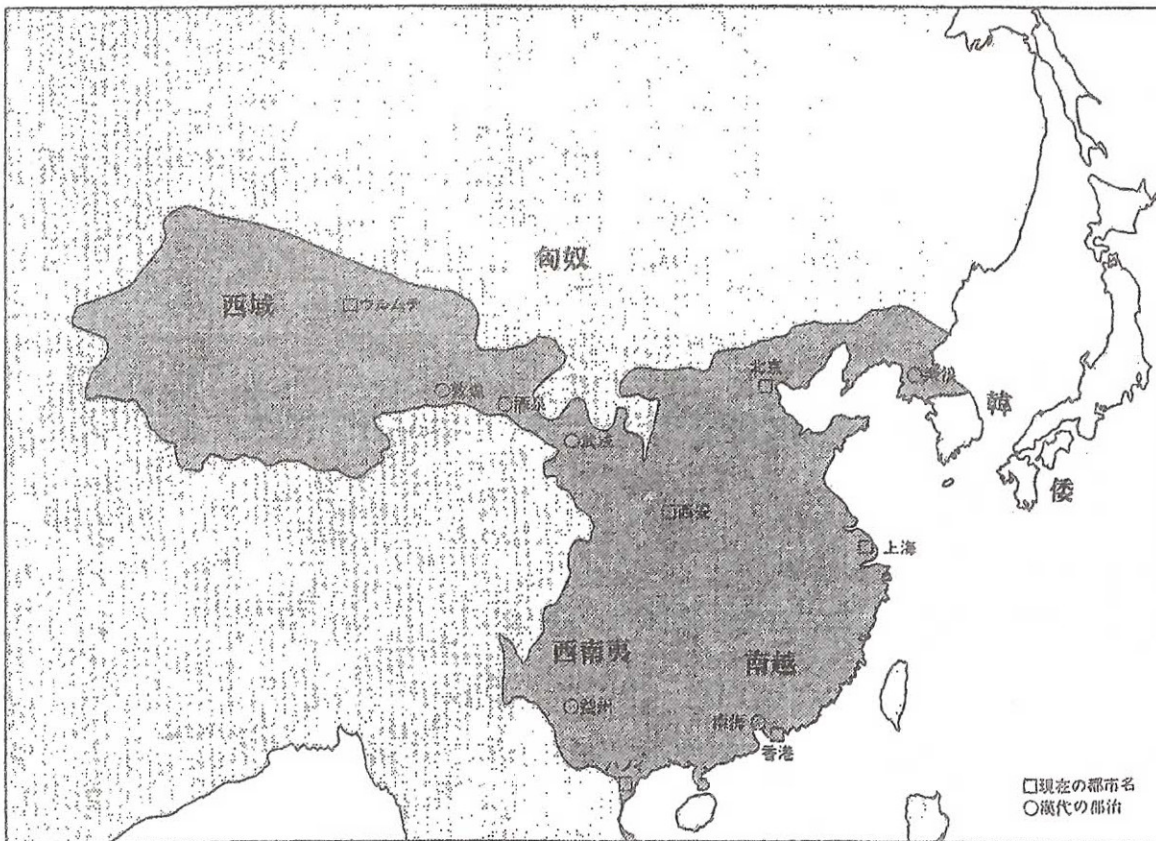
前121 武威・酒泉の二郡設置

前111 南越を滅ぼし南海郡等を設置

前108 衛氏を滅ぼし楽浪郡等を設置

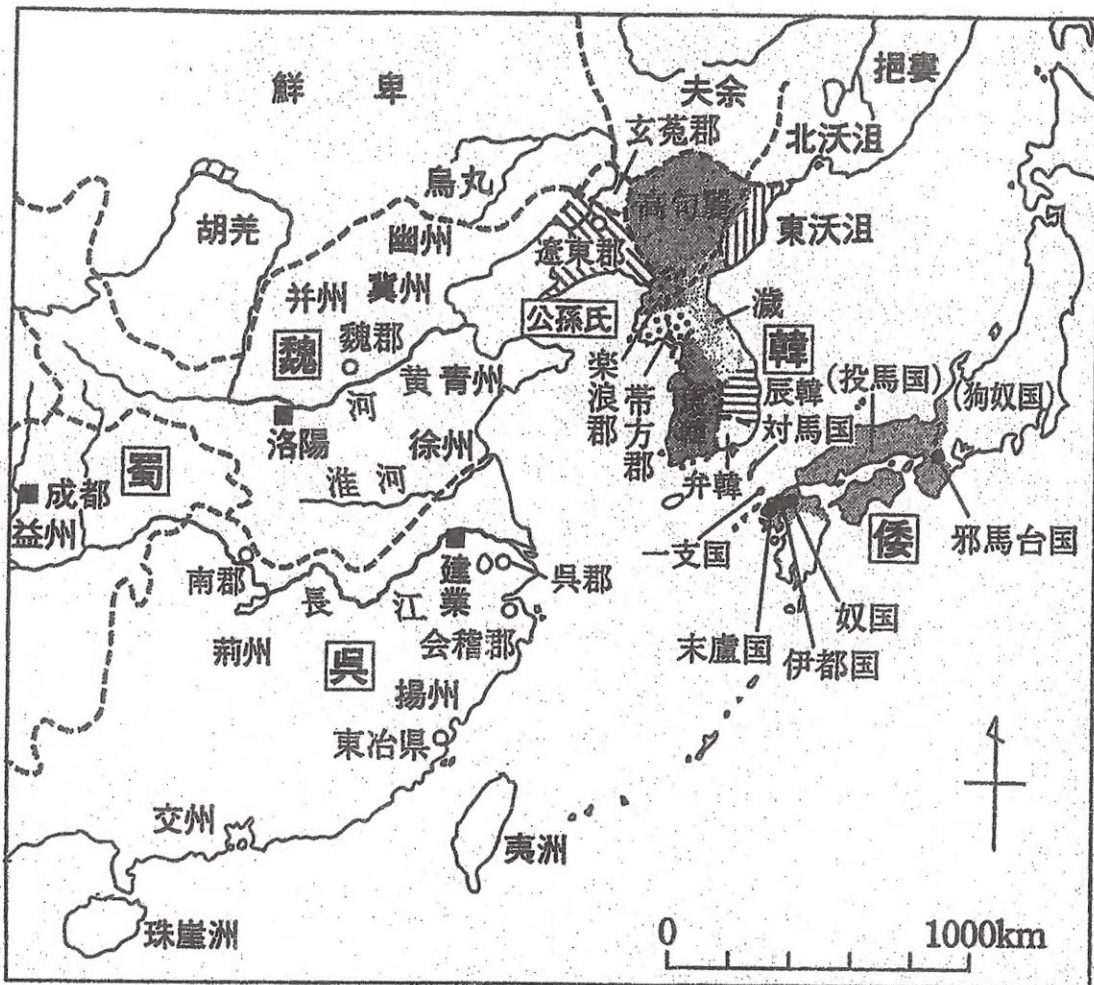
漢帝国の對外政策

(大阪府立弥生文化博物館, 1993『弥生人の見た楽浪文化』より)

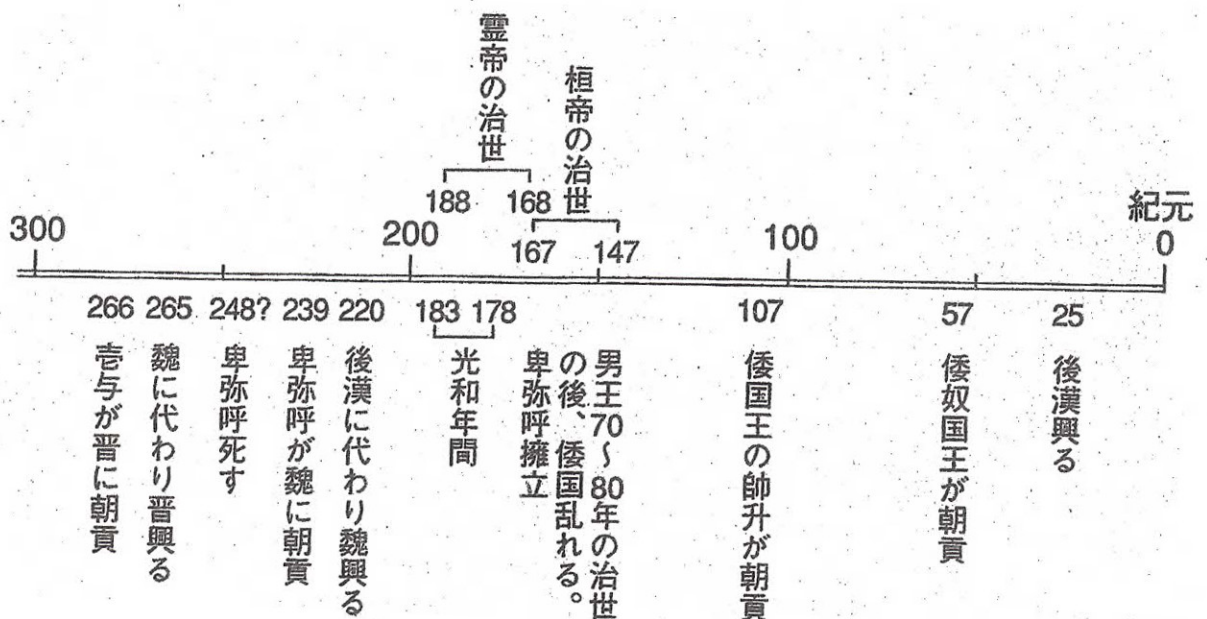


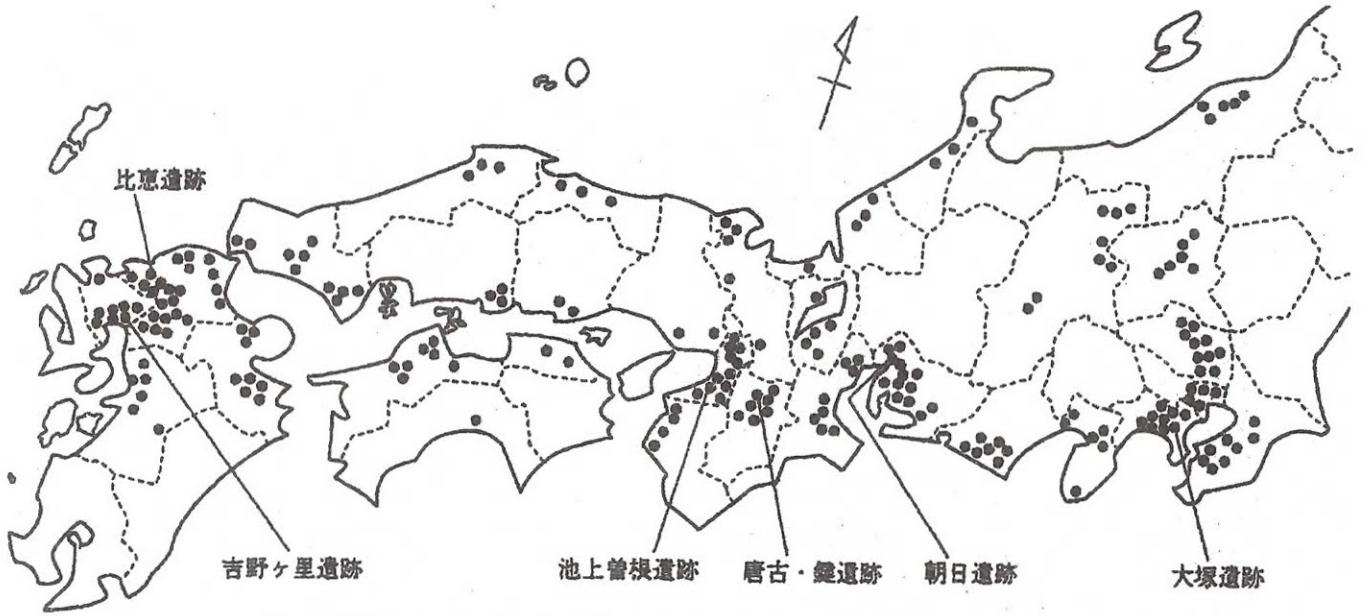
漢帝国の版図と郡治の所在地

(大阪府立弥生文化博物館, 1993『弥生人の見た楽浪文化』より)

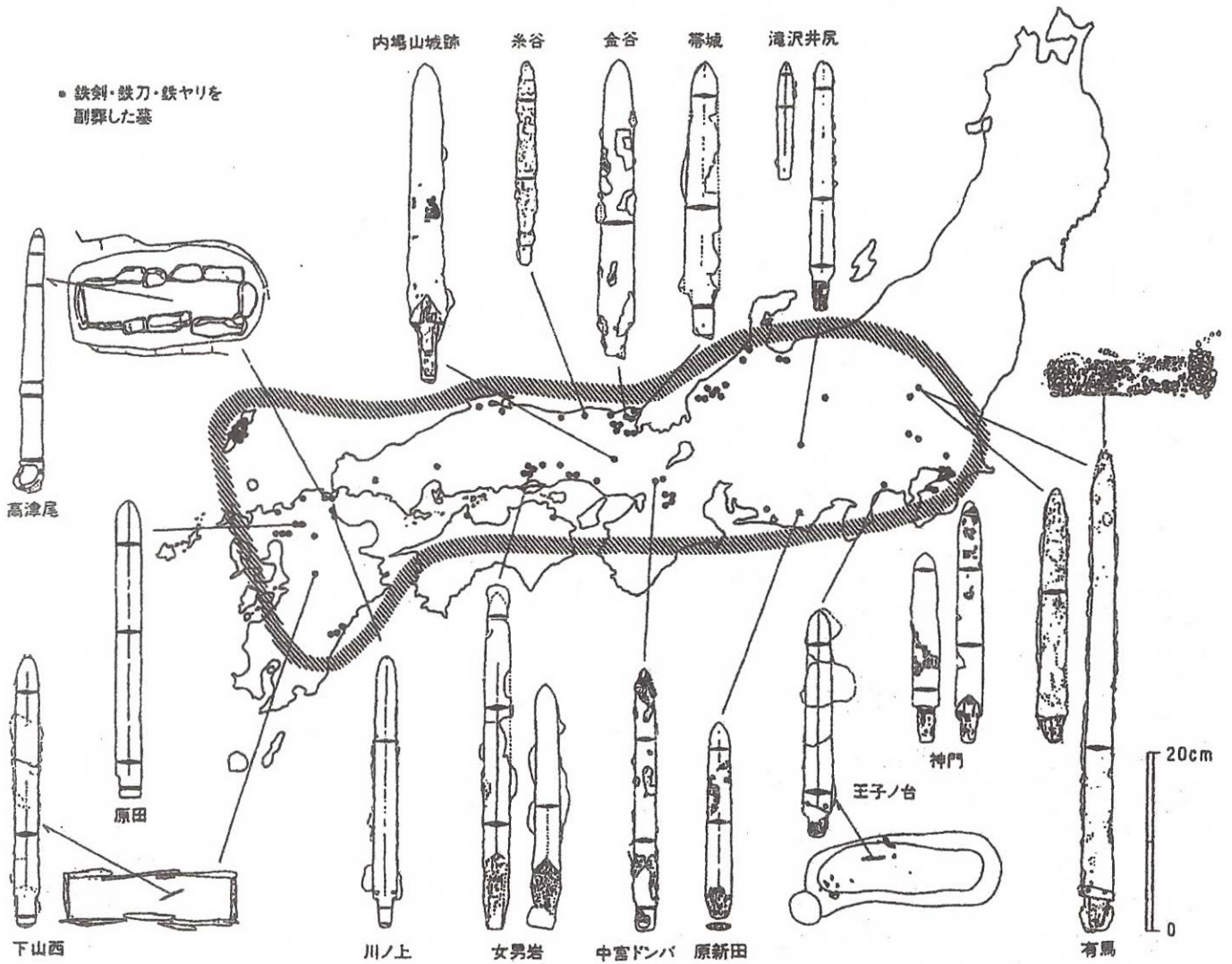


3世紀前半の東アジアの政治構図 寺沢薫, 2000『王権誕生』日本の歴史の講義社

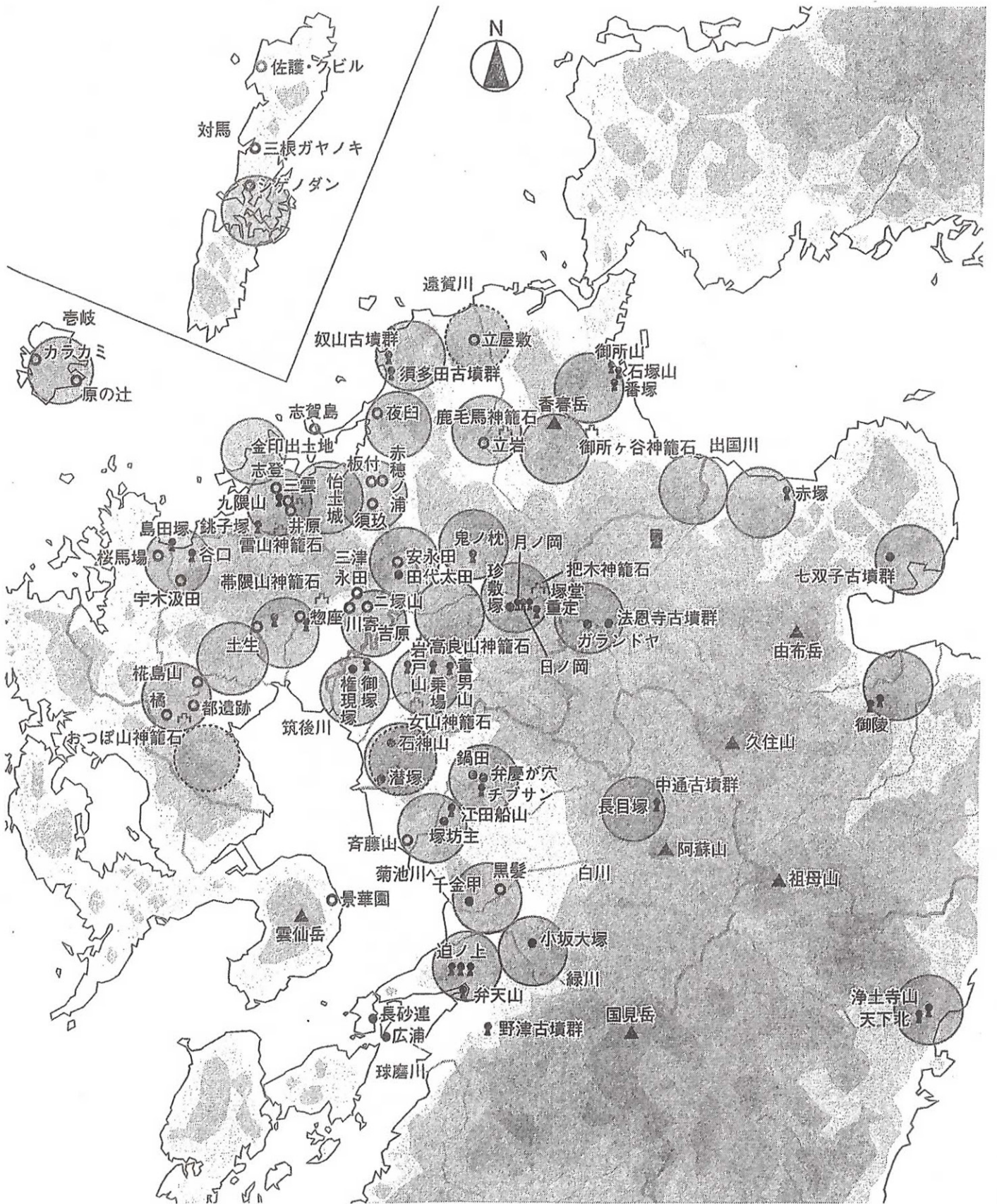




日本列島における弥生時代環濠集落の分布の概観 (約500か所ある)
 高島忠平, 2005「邪馬台国への道—なぞの不弥国はどこか—」『邪馬台国シンポジウム in 飯塚』

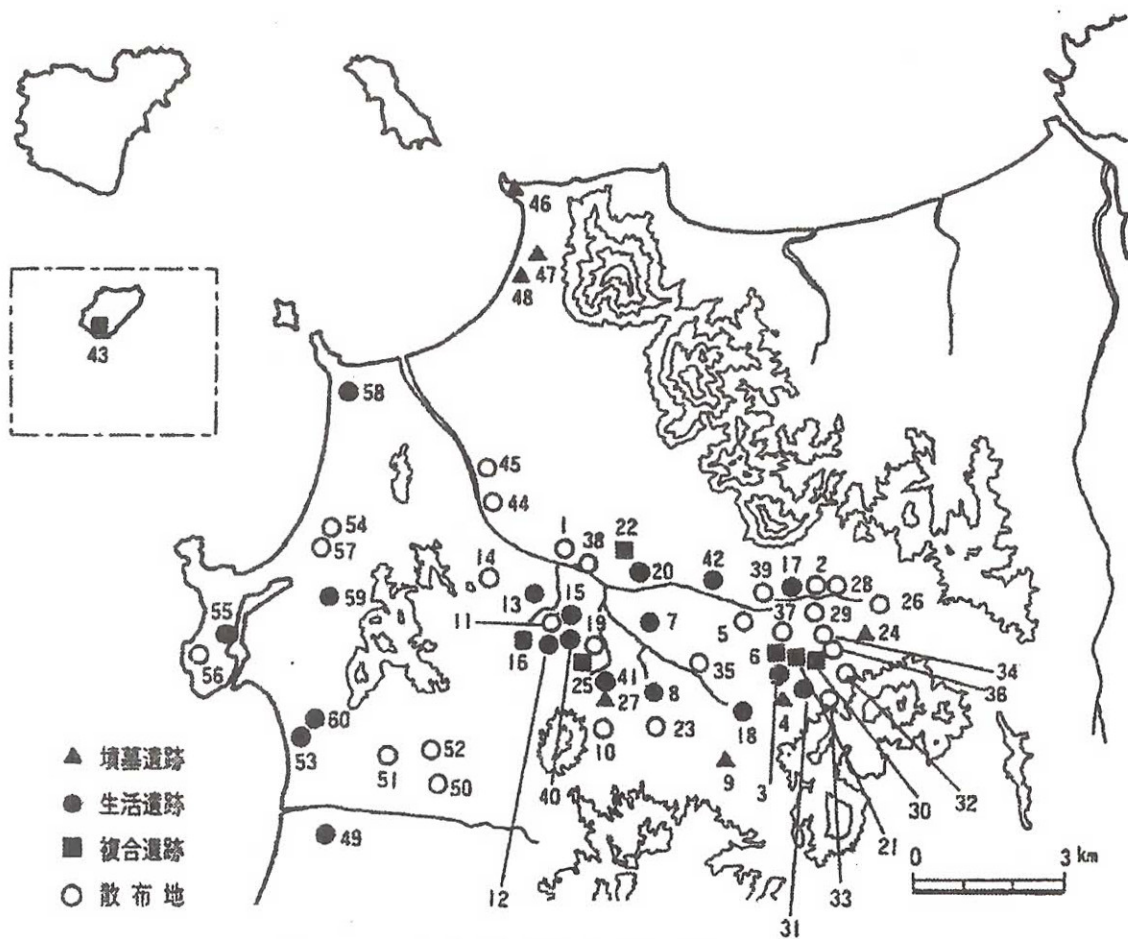


弥生時代終わりの武器と戦いのひろがり
 国立歴史民俗博物館, 1996~1997『倭国乱る』朝日新聞社

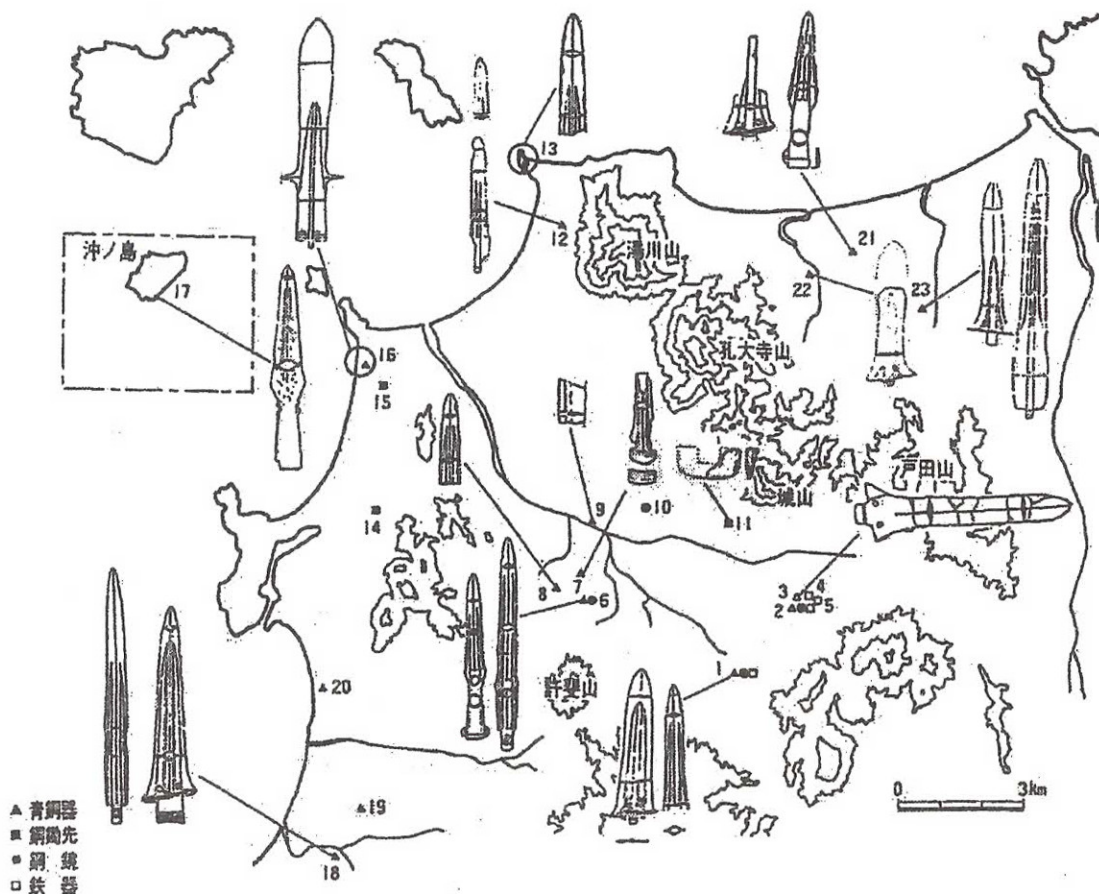


邪馬台国時代の北部九州の「クニグニ」

石野博信 編, 2012 『邪馬台国とは何か 吉野ヶ里遺跡と纏向遺跡』 新泉社



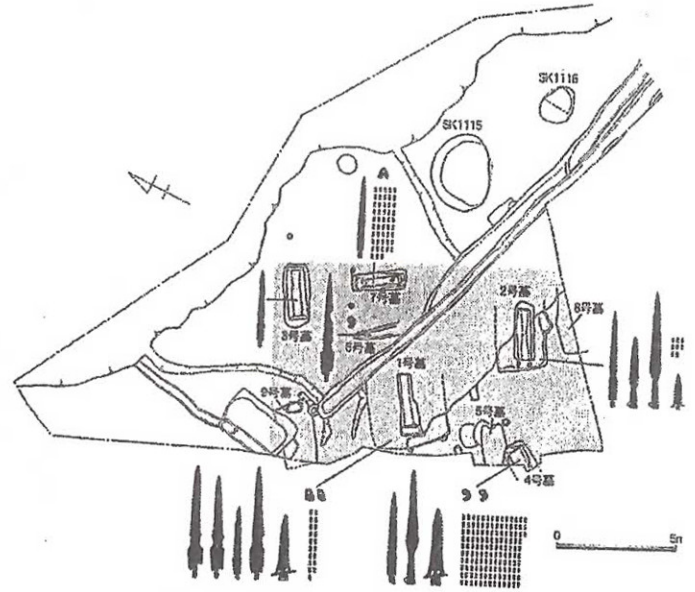
第1図 宗像地域弥生時代主要遺跡分布図
 (宗像市史編纂委員会 1997『宗像市史』通史編、第1巻より)



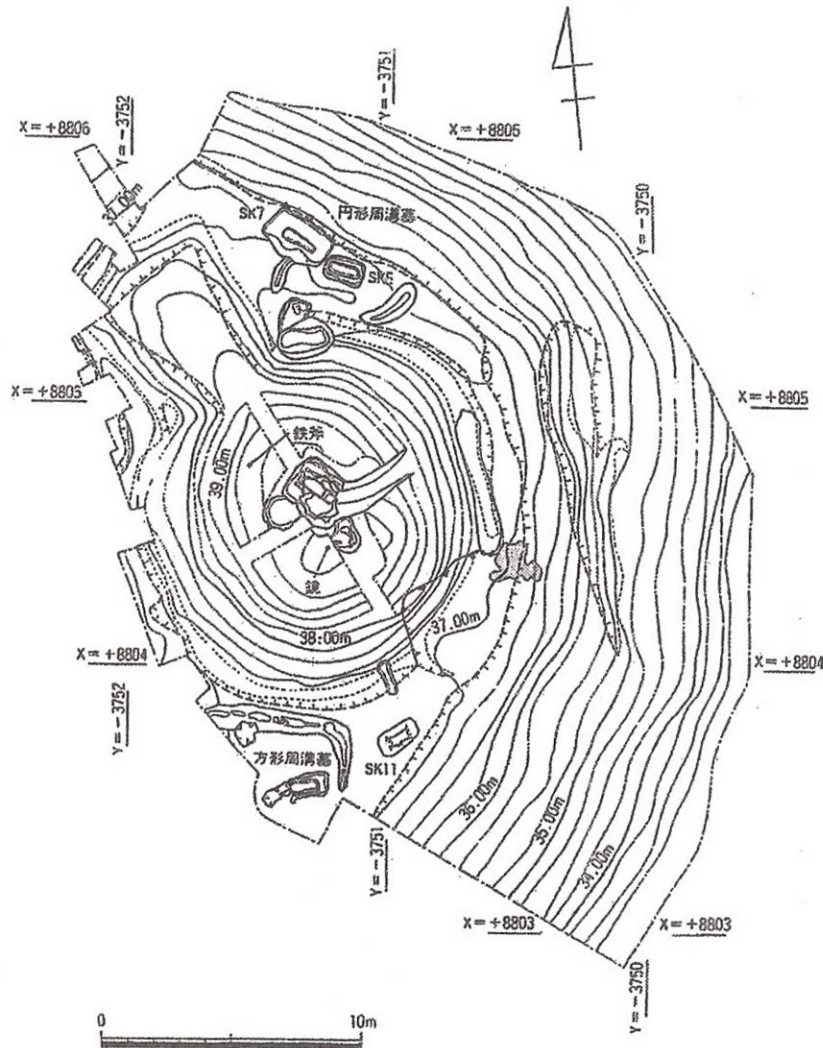
第2図 宗像地域弥生時代金属器出土地分布図
 (宗像市史編纂委員会 1997『宗像市史』通史編、第1巻より)



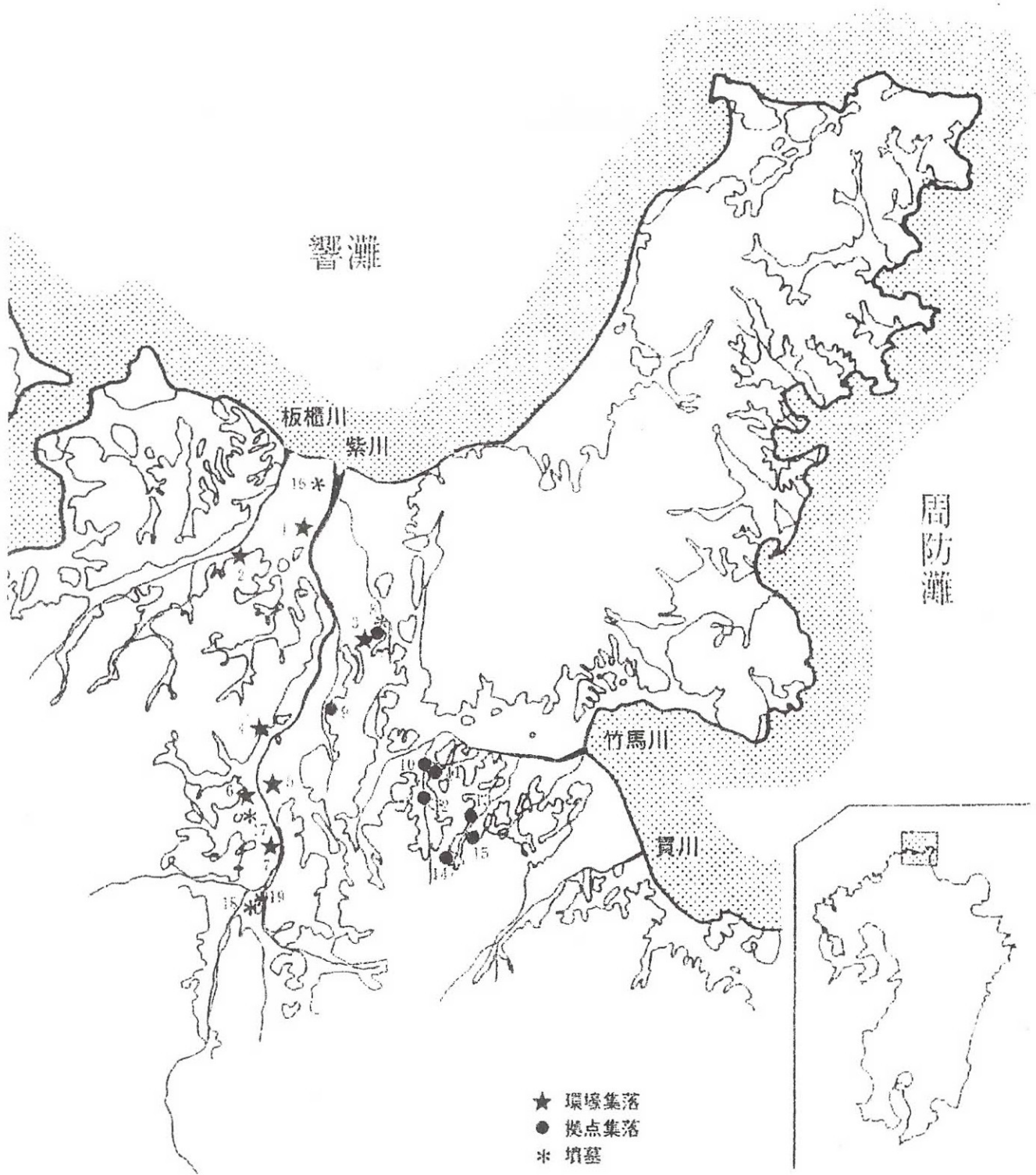
第3図 田熊石畑遺跡弥生時代中期前半の墓域(北から)
 (宗像市教育委員会 2009『宗像市文化財調査報告書』第
 61集より)



第4図 田熊石畑遺跡墓域遺構配置図
 (宗像市教育委員会 2009『宗像市文化財調査報告書』第
 61集より)



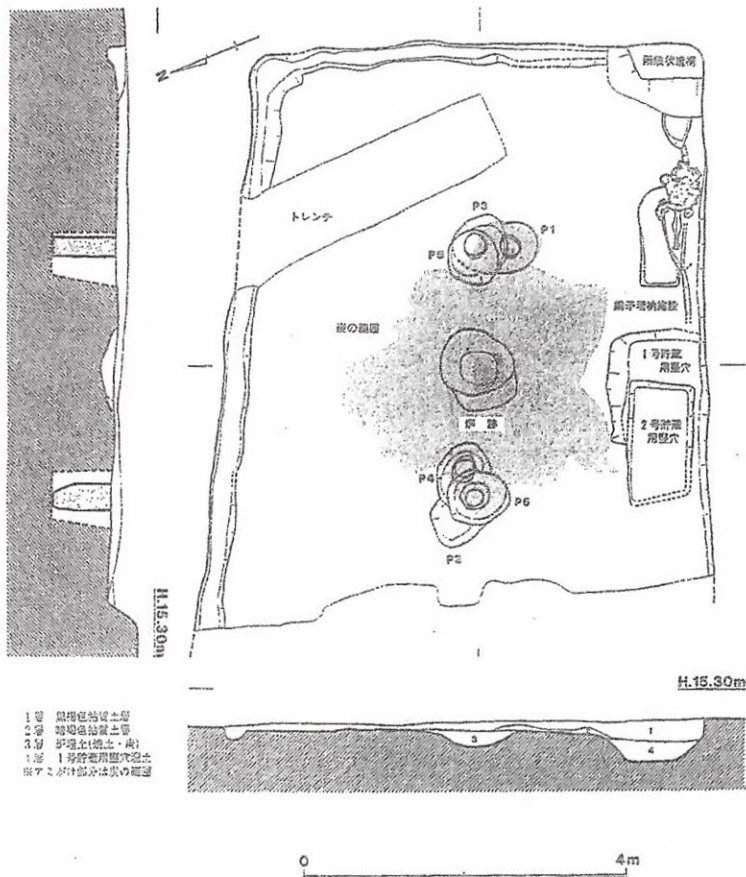
第5図 徳重本村2号墳遺構配置図
 (宗像市教育委員会 2002『宗像市文化財調査報告書』第52
 集より)



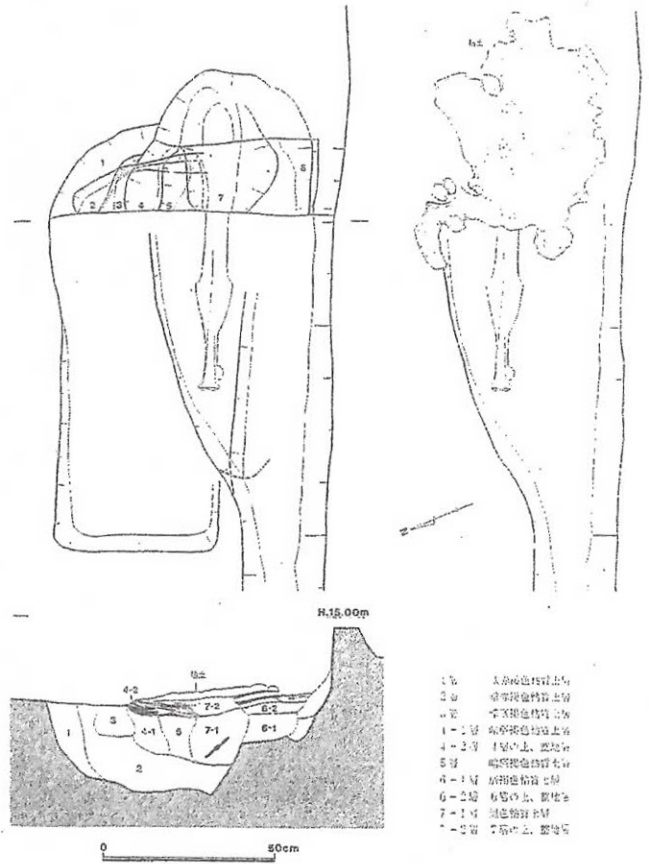
第1図 北九州市域の環壕集落・墳墓分布図

3. 重留遺跡 4. 寺町遺跡 7. 伊崎遺跡 8. 城野遺跡 10. 金山遺跡
14. 長野尾登遺跡 16. 小倉城二ノ丸家老屋敷跡 17. 郷屋遺跡

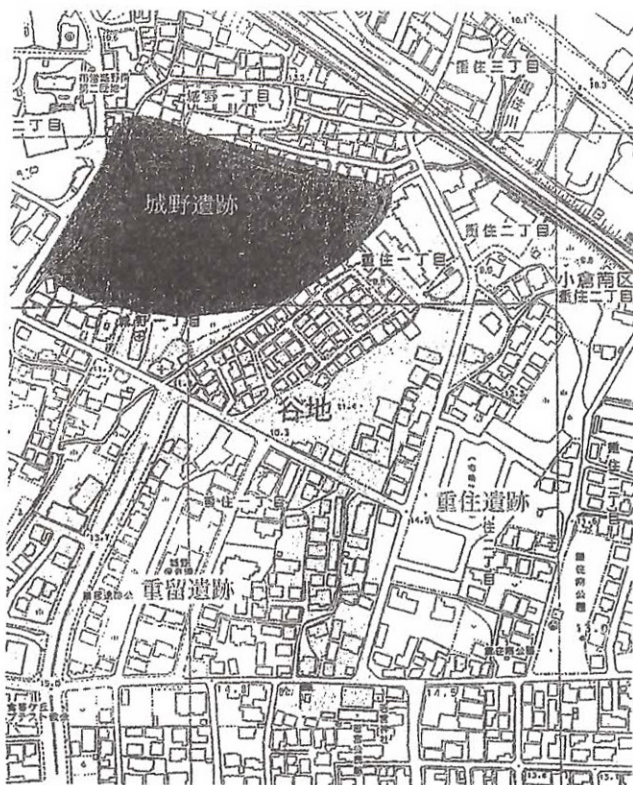
(『北九州市埋蔵文化財調査報告書』第433集より)



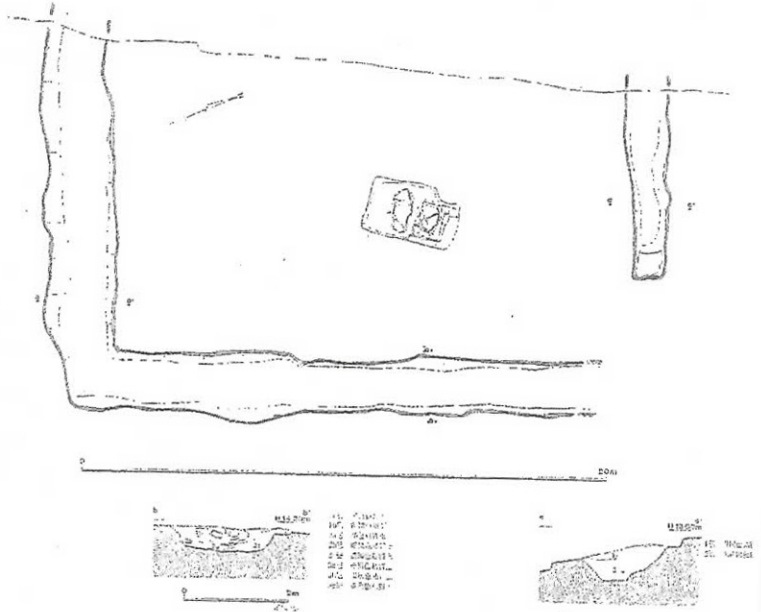
第2図 重留遺跡第2地点1号竪穴住居跡実測図
 (『北九州市埋蔵文化財調査報告書』第230集より)



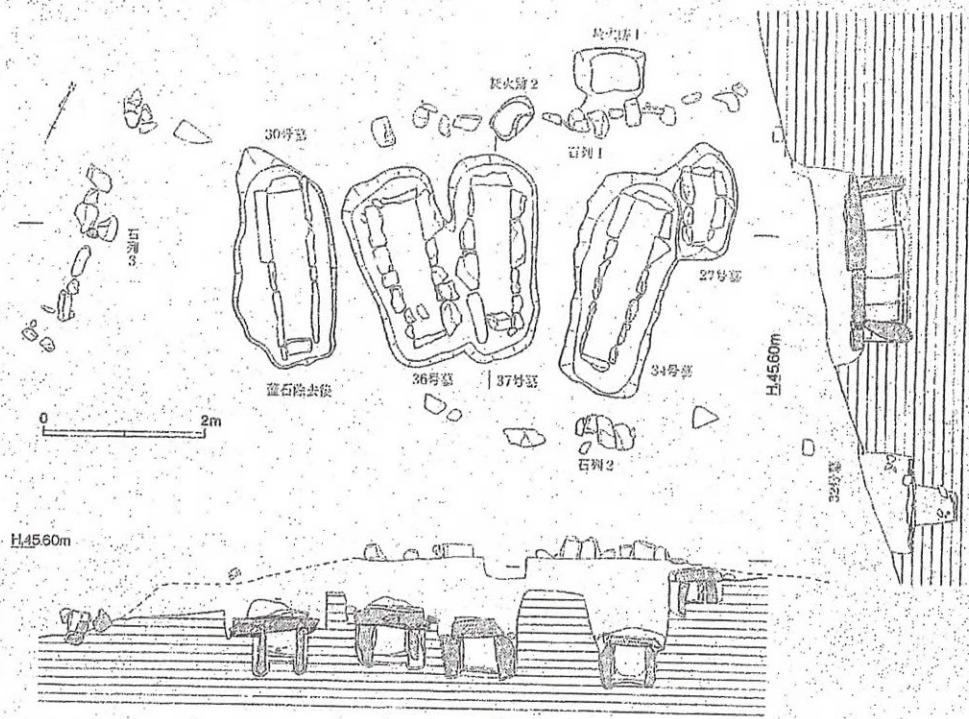
第3図 重留遺跡第2地点1号竪穴住居跡銅矛埋納施設実測図
 (『北九州市埋蔵文化財調査報告書』第230集より)



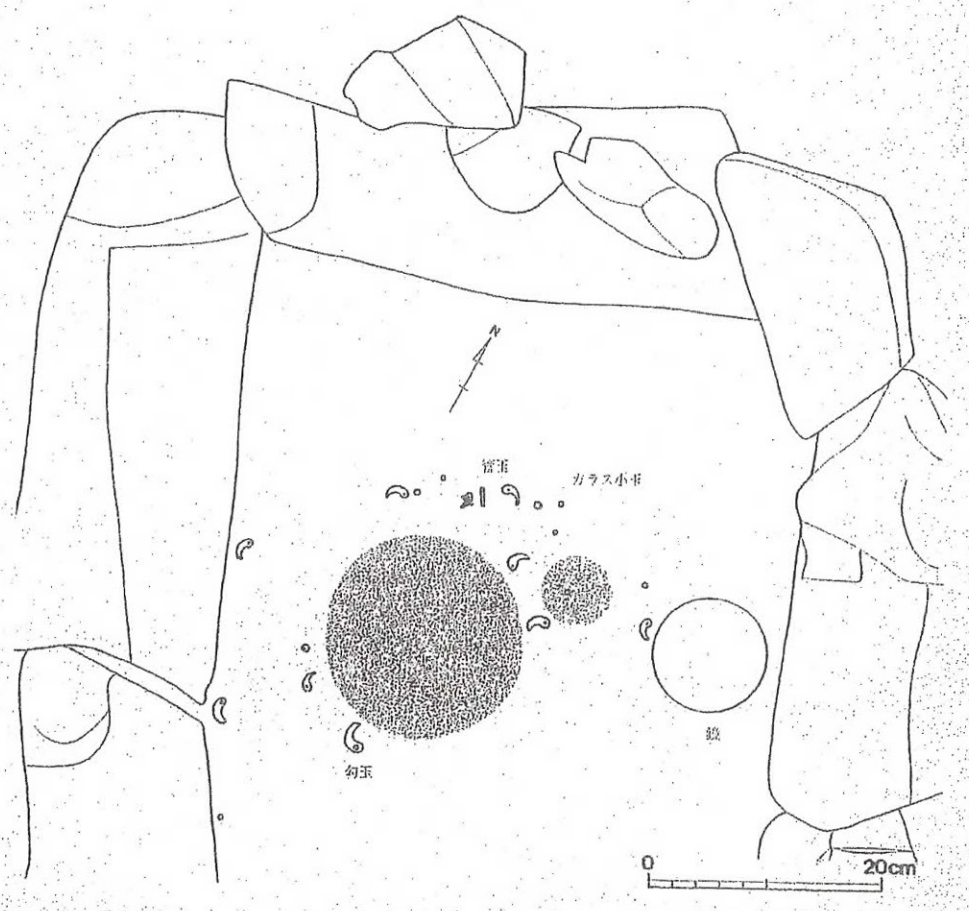
第4図 城野遺跡・重留遺跡・重住遺跡の位置
 (城野遺跡発掘調査事務所, 2010『発掘ニュース』75号より)



第5図 城野遺跡方形周溝墓実測図
 (『北九州市埋蔵文化財調査報告書』第447集より)



第 8 図 蒲生石棺群配置図
 (『北九州市埋蔵文化財調査報告書』第 425 集より)



第 9 図 蒲生石棺群 37 号墓遺物出土状況
 (『北九州市埋蔵文化財調査報告書』第 425 集より)